

# 彙 報

## 目 次

- 1 東南アジア研究センター管理委員会開催日および議題
- 2 東南アジア研究センター運営委員会開催日および議題
- 3 東南アジア研究センター編集委員会開催日および議題
- 4 東南アジア研究センター昭和41年度研究担当教官名簿追加
- 5 東南アジア研究センター学外研究参加者名簿追加
- 6 東南アジア研究センター研究例会記事
- 7 国外からの訪問者
- 8 関係者往来

### 1 東南アジア研究センター管理委員会 開催日および議題

昭和42年3月7日

- 1 所長候補者の選考について

### 2 東南アジア研究センター運営委員会 開催日および議題

昭和42年1月30日

- 1 学外者の研究参加について

昭和42年2月15日

- 1 文部教官助手の人事について

昭和42年2月28日

- 1 所長任期満了に伴う後任に関する件

昭和42年3月20日

- 1 助手の任用について

昭和42年3月27日

- 1 主任, 副主任について
- 2 研究担当教官について

### 3 東南アジア研究センター編集委員会 開催日および議題

昭和42年1月30日

- 1 『東南アジア研究』第4巻第3号の検討
- 2 *Water Resource Utilization in Southeast Asia* の検討

### 4 東南アジア研究センター昭和41年度研究担当教官名簿追加

所	属	職	名	氏	名	研 究 題 目
法	学	部	教	授	川 又 良 也	東南アジア諸国の比較法的研究

### 5 東南アジア研究センター学外研究参加者名簿追加

所	属	職	名	氏	名	研 究 題 目
京 都 薬 科 大 学		講 師	布 藤 昌 一			タイ国における生薬原植物の採集および研究
国 際 基 督 教 大 学		教 授	William H.		Newell	マラヤの中国人社会の研究
早 稲 田 大 学		講 師	増 田 與			インドネシア現代史の理論構造について

6 東南アジア研究センター研究例会記事

回数	年 月 日	講 演 者	題 目
114	昭和42年1月19日	貴 島 恒 夫	「東南アジアにおける木材の研究調査」
		木 島 正 夫	「東南アジアにおける生薬の生産と薬用植物の研究調査」
115	昭和42年2月2日	森 山 徐 一 郎	「マレーシアにおける希有金属資源の研究調査」
		松 下 進	「マレーシア, タイ旅行談」
116	昭和42年2月16日	飯 島 茂	「カレン族の農民化」
117	昭和42年3月2日	赤 井 重 恭	「タイ, マレーシアにおける二, 三作物の病害」
		西 川 義 正	「東南アジアにおける家畜」
118	昭和42年3月16日	天 野 義 彦	「熱帯地域における歯牙弗素症鬩について」
		小 野 尊 睦	「東南アジアにおけるベテルと口腔癌」
119	昭和42年3月23日	Soemantri Brodjonegoro	「インドネシアにおける研究について」

7 国外からの訪問者

年 月 日	氏 名
昭和42年1月16日	Dr. G.V. Subba Rao, Inter-Regional Planning Adviser, UNICEF, New Delhi, India
昭和42年1月17日	Professor Han-Key Lee, Director, The Korea Law Research Institute, Seoul National University, Korea
昭和42年1月17日	Dr. R.W. Fleming, Chancellor, Professor Everett Day Hawkins, Chairman, East Asia Area Studies Committee, The University of Wisconsin, U.S.A.
昭和42年1月18日	Mr. John Musgrave, Southeast Asia Bibliographer, University of Michigan Library, U.S.A.
昭和42年1月24日	Mr. David G. Marr, Fulbright Research Scholar, University of California (Berkeley), U.S.A.
昭和42年1月28日	Mr. Donald Horne, Editor, The Quadrantin, Sydney, Australia
昭和42年2月9日	Mrs. Soontaree Suvipakit, Social Science Division, National Research Council, Thailand
昭和42年2月10日	Dr. Adul Vichiencharoen, Dean of Liberal Arts, Thammasat University, Thailand
昭和42年2月21日	Mr. Russell Stevenson, Administrative Officer, the Agricultural Development Council, Inc., New York, U.S.A.
昭和42年2月23日	Mr. Jacques Lemoine, Attaché de recherche au Centre National de la Recherche Scientifique, Paris
昭和42年3月1日	Mr. William K. Cummings, Research Assistant, Academic Profession's Project, Department of Social Relations, Harvard Univ., U.S.A.
昭和42年3月3日	Mr. John Hill, British Council, Tokyo
昭和42年3月10日	Mr. George F. Gant, Director, South and Southeast Asia Program, The Ford Foundation, U.S.A.
昭和42年3月23日	Dr. Soemantri Brodjonegoro, President, University of Indonesia, Indonesia
昭和42年3月28日	Mr. James R. Townsend, Assistant Professor of Political Science, University of California (Berkeley), U.S.A.

8 関係者往来

氏 名	出 発	帰 国	行 先
渡 部 忠 世 (京都府大・農・助教授)	42. 1. 4	42. 2. 5	タイ, 香港
服 部 共 生 (京都府大・農・助教授)	42. 1. 4	42. 2.18	タイ, カンボジア, 香港
西 川 義 正 (京大・農・教授)	42. 1. 6	42. 1.19	タイ, マレーシア, 香港, シンガポール, 中華民国
佐々江 洋 太 郎 (京大・大学院・農)	42. 1. 6		タイ, マレーシア
西 占 貢 (京大・医・教授)	42. 1.18	42. 2.18	タイ, インド, 中華民国
川 口 桂 三 郎 (京大・農・教授)		42. 2.23	フィリピン, パキスタン, ビルマ, カンボジア, 香港
久 馬 一 剛 (京大・農・助手)		42. 2.23	〃
富士岡 義 一 (京大・農・教授)	42. 3. 6		タイ, マレーシア, フィリピン, 中華民国, カンボジア, シンガポール
海 田 能 宏 (京大・大学院・農)	42. 3. 6		〃

執 筆 者 紹 介

矢 野 暢	大阪外語大・講師	岩 槻 邦 男	京大・理・助手
前 田 成 文	京大・大学院・文	福 岡 誠 行	京大・大学院・理
西 田 龍 雄	京大・文・助教授	北 川 尚 史	奈良教育大・助教授
渡 部 忠 世	京都府大・農・助教授	前 川 暢 夫	京大・結研・助教授
福 井 捷 朗	京大・大学院・農	正 垣 幸 男	名古屋大・講師
堤 利 夫	京大・農・助教授	石 井 米 雄	京大・東南ア研・助教授
菅 誠	信州大・農・講師	飯 島 茂	京大・東南ア研・助手
Choob KHEMANARK	Assistant Instructor, Dep. of Forestry, Kasetsart Univ.	高 谷 好 一	京大・工・研究生
渡 辺 弘 之	京大・農・助手	武 田 健 策	農林省農地局建設部設計課
Pairath SAICHUAE	京大・大学院・農	大 野 徹	大阪外語大・助手
栗 本 一 男	京大・教育・助手	坪 内 良 博	京大・東南ア研・助手
		本 岡 武	京大・東南ア研・教授

あ と が き

「東南アジア研究」も本号でもって、第4巻をおわる。だいたい1冊を200ページでおさえるプランであるが、つぎつぎとフィールド・サーベイにもとづく貴重な原稿がよせられ、このたびも236ページとなり、嬉しい悲鳴をあげている。

編集部も3月より新卒生を加え、スタッフの充実をはかっており、次号は新装の第5巻第1号を、6月末に刊行したいと思っている。

(編集委員記)